

トレセン／地域 GK キャンプ支援制度・2012

1. 地域 GK キャンプ支援の主旨・背景

- 2005 年宣言の実現を目指し、ゴールキーパーの育成を実施する。
- 2001 年より開始した JFA ゴールキーパーキャンプでは代表候補となりうる数多くの選手のモチベーションを高め結果、多くの選手が J リーグの選手となりまたその中より日本代表選手も輩出されている。
- ゴールキーパーキャンプの役割は選手の強化、育成に留まらず、選手発掘、情報発信、ゴールキーパーコーチ研修と多くの側面を兼ね備えている。
- 日本のゴールキーパー育成の土台を厚くしていくために、今後更にゴールキーパーの育成に力を注いでいかなければならず、先ずできることとして現在行われている地域でのゴールキーパーキャンプの開催回数を増やすことや参加選手を増やしていくことが重要である。

2. 基本的な考え方

- 地域で実施している地域ゴールキーパーキャンプに支援する。(対象は地域 FA とする)
- 1 地域 30 万円とし、使途(対象経費)はグラウンド利用料、宿泊費、交通費等直接実施に関わる経費とする。
- 実施場場所、期間、開催規模はナショナルトレセンゴールキーパーコーチが主体となり、地域のスタッフ等と共に企画するものとし、地域の独自性を配慮する。併せてナショナルトレセンゴールキーパーコーチは本件の実施および予算管理に関わる。

3. 対象期間

- 2012 年度
- 継続について
ゴールキーパーの発掘、育成はもとより指導者のスキルアップは選手育成において非常に重要なウェイトを占める。よって継続性のある支援を検討するが、JFA 予算の変動により継続的に補助できない場合も想定し、地域単独での継続開催を想定しながら進めるものとする。

4. 補足事項

- 活動報告書、収支報告書の提出、正確な経理処理等、実務面でもきちんと取り組むものとする。

精算については別途案内をする。

JFA 側の窓口(担当部署)は技術部とし、地域 FA のカウンターパートとして協働して取り組みます。

以上